

山  
田  
くん  
は

就活中。

“アーティスト”

(GEKIDAN-HACTION)

あ、  
ミスつ  
た。

## 登場人物

山田くん・・・トランクス男性。大学三年生。  
林ちゃん・・・女性。大学三年生。  
センパイ・・・男性。会社員。  
店員さん・・・女性。フリーター。  
清掃の人・・・女性。清掃員。  
記者2・・・女性。新聞記者。

※2040年までに行われる上演において、山田くんはトランクス男性の俳優によって演じられるが、2041年以降の上演においては制限はない。また他の登場人物については上演時期に応じて配役の指定はない。

正午過る。

フュリース。

林ちゃんとセンパイがテーブルを挟んで座っている。

テーブルの上にはおしべりとグラスが一つずつ置かれている。  
メニューは透明なテーブルクロスの下に敷かれている。

センパイ にしても久しぶりだねえ

林ちゃん 久しぶりぶりですねえ

センパイ え、いつぶりだっけ？

林ちゃん たしか追いコンぶりぶりですね

センパイ え、追いコンぶりかあ

林ちゃん 追いコンぶりぶりですねえ

センパイ けつこう久しぶりだね、そしたら

林ちゃん けつこうぶりぶりですね、はい

センパイ 林ちゃんスゲー酔ってたよね

林ちゃん え、そんなにわたし酔ってました？

センパイ もうすぐかつたよ、ほんとに

林ちゃん え、そんなにですか

センパイ え、もしかして覚えてない？

林ちゃん ミジンコも覚えてないですね

センパイ マジで？ ウソでしょ？

林ちゃん ガチンコです

センパイ えー、スゲー笑ったのに

林ちゃん え、なんか変なことしてました？

センパイ あー、してたしてた

林ちゃん え、何してました？

センパイ グラス割るわ、暴力振るうわ

林ちゃん うわ、最悪だ、頓死しそう

センパイ あとね、逆立ちしてたよ

林ちゃん え、逆立ち？

センパイ うん、逆立ち

林ちゃん かの逆立ちですか？

センパイ 初めて見たよね

林ちゃん 逆立ちですか？

センパイ いやいや、酔った林ちゃん

林ちゃん とんでも醜態を晒し散りかしまいましたね

センパイ まあでも逆に？林ちゃんらしいなって思ったよ

林ちゃん え、全然普段そんな感じじゃないですよ私

センパイ いやいや、ななくてさ、逆立ち

林ちゃん え？

センパイ 林ちゃんつてさ、逆立ちっぽいと感じやん？

林ちゃん 逆立ちっぽいといふのは？

センパイ なんていうかさ、みんなとは逆行しちゃうとかさ

林ちゃん それって浮いてるつてことですか？ドローンですか？

センパイ いやいや、ソラノイロとじやないんだけどわ

センパイ ソラノイロとだよね

林ちゃん そらのいろとなんですか？

センパイ そらのいろとなんだよね

林ちゃん でもそれだったらセンパイも逆立ちっぽいとありますよ

センパイ え、そっかなあ？

林ちゃん そうですよ

センパイ まあそうちもしれないよねえ、俺的にはあんまりソラノイロつもりは、ないんだけどねえ、まあ無意識にそうちやうつてこいつのも分からなくはないよねえ、だってそうちやうつてこいつせわ、そうちなつかやつ、つてこと

なんだもん

センパイ え、じゃあ一緒だね

林ちゃん え、何ですか？

センパイ 僕と林ちゃん、逆立ち仲間じゃん  
林ちゃん そういうことにば、なるかもですね  
センパイ 逆立ち仲間同士、仲良くしようね  
林ちゃん 別に仲悪くないじゃないですか、もともと  
センパイ まあそういうなんだけどや、より一層のね

林ちゃんのスマホが鳴る。

林ちゃん、電話に出る。

林ちゃん あ、もしもし、どうでしたの? うん、あ、いじよ、うん、うん、よからう、うん、うん、はー、じゃあ後でね

林ちゃん、電話を切る。

センパイ え、彼?

林ちゃん はい、一時間ほど遅れる感じです

センパイ ええ

林ちゃん あれ、問題ありますか?

センパイ いや、さすがに一時間はないでしょ

林ちゃん あ、すこません、たしかに一時間は長かったかもしれないですね、正直センパイなりいかなって思っちゃったところがありました、もし時間的にやばそうだったり今日はやめてまた今度でも、あ、でもセンパイがよかつたこの話になつてくんんですけど、

センパイ うんうん

林ちゃん え?

センパイ 全然いいよ、一時間くらい

林ちゃん なんだ、よかったです

センパイ ちょっとからかっただけだから

林ちゃん ほんとに恐怖でしたよ、ひどい

センパイ いや林ちゃん、ほんと面白いわ  
林ちゃん 暴力振りますよ?

センパイ じめんじめん

センパイ え、じゃあさ、追いコンのことなんも覚えてないの?  
林ちゃん 覚えてナスですよ  
センパイ そうなんだ

センパイ え、ひどくない?  
林ちゃん え、なんですか?

センパイ だつて俺たちの追いコンだよ?

林ちゃん あ、たしかに、そいつはすいやせん

センパイ しかも俺めっちゃ林ちゃんの介抱したからね?

林ちゃん ええ、そうちったんですか?

センパイ そうだよ、ほんとに覚えてないじやん

林ちゃん その節はたいへんお世話になりやした

センパイ でも覚えてないんじょ?

林ちゃん 覚えてないです

センパイ え、ほんとに全部覚えてないの?  
林ちゃん 覚えてないです

林ちゃん え、どうしたんですか?

センパイ いや、なんでもないけどさ

センパイ つていうか

林ちゃん はい

センパイ なんか食べる?

林ちゃん あ、たしかに、なんか食べます

センパイ 遠慮せず好きなだけ頼んじゃつてよ

林ちゃん え、いやいや、そいつは面白ねえです

センパイ いいからいいから

林ちゃん いやいやそれは、では遠慮なく

センパイ 何ハンバーグでもいいからね  
林ちゃん あ、私ハンバーグはちょっと

センパイ え、ハンバーグ嫌いだったっけ?  
林ちゃん 好きですよ、ハンバーグ

センパイ え、じゃあなんで?  
林ちゃん ビーガンになつたんですよ、私

センパイ え、マジで?  
林ちゃん マジマジのマジです

センパイ え、なんで?  
林ちゃん 考え方が変わつたんですよねえ

センパイ え、そうなんだ  
林ちゃん そうなんですよ

セントラリアンの後輩ができるとは  
林ちゃん でもけつこういませんか?  
センパイ いや、けつこうるのは知つてゐるけどさ

セントラリアンとは思わなかつたんだよ

セントラリアン しかも後輩に

セントラリアン え、じゃあサラダ食べる?  
林ちゃん あ、じゃあパフェがいいです  
セントラリアン サラダじゃないのね  
林ちゃん サラダじゃないですね  
セントラリアン つていうかパフェはいいんだ  
林ちゃん え、ここのお肉入つてますか?  
セントラリアン 入つてない入つてない  
林ちゃん ですよね、あぶねー

セントラリアン すいませーん  
店員さん はい、ただいま

店員さん、やつてへる。

センパイ 注文いいですか？

店員さん はい、お伺いします

センパイ チーズインハンバーグと、

林ちゃん チョコレートパフェください

店員さん チーズインハンバーグとチョコレートパフェですね

林ちゃん はい

店員さん ありがとうございます

店員さん、いなくなる。

センパイ え、ちょっと待って

林ちゃん 待ちます

センパイ じゃあ一時間このままついて? ？

林ちゃん え、やっぱり嫌ですか？

センパイ 嫌なわけないじゃん、嬉しいで

林ちゃん 嬉しいんですか？

センパイ だつて久しぶりじゃん、林ちゃん

林ちゃん ぶりぶりですね

センパイ え、どんな人なの？

林ちゃん 私ですか？

センパイ 違うよ、その山田くん

林ちゃん えげつねえいいやつですよ

センパイ え、顔は？

林ちゃん え、顔ですか？

センパイ うん、顔

林ちゃん ありますよ

センパイ いや、あるじょりゅうや

林ちゃん え？

センパイ イケメン？

林ちゃん あー、どうなんですかねえ

センパイ え、林ちゃんの好み？

林ちゃん え、なぜやえですか？

センパイ いやルックスってさ、実は意外と大事なのよ

林ちゃん そうなんですか？

センパイ だって面接でも、だいたい同じ学歴とスキルでも、イケメンとバスがいたらさ、やっぱりイケメンとなるでしょうね。

林ちゃん とうないです

センパイ とるのよ

林ちゃん となるんですか

センパイ となるんだよね

センパイ だから俺にこう相談に乗るとかはね、めず絶対いいことにしてもらおうがね、身だしなみはしっかりしが、つてこの人のをめざしておこなってもらおうがね

よね

林ちゃん あー、でもたしかに身だしなみはぐう大事ですよね

センパイ 林ちゃんは意外と分かってそうだよね、その辺は

林ちゃん え、そういう思いますか？

センパイ うん、そういうわけ、わざとマジで

林ちゃん あざわ

センパイ え、でも、林ちゃんの好みな感じなの？ その山田くん？

林ちゃんのスマホが鳴る。

林ちゃん お、噂をすれば着信とはこのことですね

林ちゃん、電話に出る。

林ちゃん あ、もしもし?「うん、うん、え、ほんと、うん、よかわい、はーい

林ちゃん、電話を切る。

センパイ なんて？

林ちゃん なんかやつぱり一時間遅れない？

センパイ え？ 遅れなくなつたの？

林ちゃん はい、なんならもう着いたやつたみたい

センパイ え、でも遅れるんじゃなかつたの

林ちゃん そいつはもう過去の話ですよ

センパイ え、いやいや、

林ちゃん あ、こいつこいつ

山田くん、やつてくる。

山田くんはスージーを着た「ココラ」の姿をしている。

山田くん (林ちゃんに) かたじけない

林ちゃん よかわい

センパイ え、ちょっと

山田くん あ、はじめまして、山田と申します

センパイ あ、どうも、はじめまして

林ちゃん 座つて座つて

山田くん あ、うん

山田くん、林ちゃんの隣に座る。

山田くん この度は遅れなくて申し訳ありませんでした

センパイ え、いや、遅れない分には全然

山田くん 遅れかけた点に関しましても謝罪の意を表明させていただきまく

センパイ 遅れかけたけど遅れてないからね、結果的に

林ちゃん センパイもこう言つてるし、問題ナッシングだよ

山田くん 誠にありがとうございます

センパイ けつこう楽しむな人だね

山田くん あ、私ですか？

センパイ そうそう

林ちゃん それ、わかりみです

センパイ ね、そうだよね、これは

林ちゃん あ、山田くんなんか頼んだり？

山田くん かたじけない

林ちゃん よかろう

林ちゃん (センパイに) あ、よきですか？

センパイ え、ああ、もちろん

林ちゃん なんでも頼んでいいから

山田くん わかった

センパイ 何ハンバーグでもいいからね

山田くん あ、私ハンバーグはちよつと

センパイ え

山田くん 私ビーガンなので

林ちゃん そうなのです

センパイ あ、へえ

センパイ いやほんとにいるんだね、ベジタリアン

山田くん あ、注文いいですか？

センパイ もちろん、すいませーん

店員さん はい、ただいま

店員さん やってくる。

店員さん お伺いします

山田くん ストロベリーパフェをひとつ

センパイ あれ、バナナパフェじゃなくていいの？

林ちゃん、山田くん、店員さん え？

センパイ え、あ、いや

店員さん (山田くんに) いかがなさいますか？

山田くん あ、ストロベリーパフェで

店員さん かしこありました

店員さん いなくなる。

センパイ いやじめんね、なんか

山田くん いえ、私は全く

センパイ 徹底してくるのかと思ってや

林ちゃん 徹底ですか？

センパイ 徹底だね

林ちゃん 徹底ですか

センパイ 徹底だね

センpai 徹底ってなんですか？

センpai え、だつてさ

センpai そこはバナナかと愚りじゃん

センpai 愚りんだよね

センpai え、これツッコんでいいんだよね？

林ちゃん え、どこに突っ込むんですか？

センpai 突っ込むんじゃなくてツッコむのよ

林ちゃん 突つ込むんじゃなくて突つ込むんですか

センpai (山田くんに) え、いいんだよね？

山田くん え、私にですか？

センパイ そうだよ、他にいないでしょ

山田くん 私は突っ込まないでいただきたいです

林ちゃん 私もセンパイが山田くんに突っ込むのは嫌です

センパイ あ、ちょっと待って、それ勘違いしてるから

センパイ 山田くんのおかしこと/orを指摘してもこう? って意味だからね?

林ちゃん それってもうどうぞくないですか?

センパイ え?

山田くん あ、あの、遅れなかつた私が書いたのもなんですが、それなの本題の方に入つてもよろしくでしょうか?

センパイ あ、もうだよね、そのための余だもんね

林ちゃん 他愛のない余詰で盛り上がりまいましたね

山田くん そうしますと、まずはお見せしたいものがございましてですね

山田くん 一枚の紙を鞄から取り出す。  
それをセンパイに見せる。

山田くん いやうなんですけども

センパイ ん?

山田くん あ、これからHントコーヒー・シームになりまして、ぜひ書き方などのアドバイスを頂戴したくてですね、

センパイ あ、うん、それはね、理解してるんだけども

山田くん その他、何か不明な点がございましてよいか?

センパイ あれ、これ本物のエントリーシートだよね?

山田くん はい、もちろん本物です

センパイ え、ふざけてる?

山田くん え?

林ちゃん 山田くん、たぶんふざけてるなーと悪いんだか

センパイ いや、でもこれはふざけてるでしょ

林ちゃん (山田くんに) え、ふざけてる?

山田くん

ふざけてない

センパイ

ふざけてるじゃん

山田くん

ふざけてるつむづ毛頭ないのですが

センパイ

だつてこれ『眞ゴコロ』だろ

山田くん

え

センパイ

ごめんね、ちょっとカッとなつちやつて  
すいません、

山田くん

いやごめんね、でもその変なマスクも取った方がいいと思ひよ

山田くん

私はゴコラなのです

センパイ

お前いい加減にしろよ

林ちゃん

センパイ、山田くんは「ゴコラ」なのです

センパイ 林ちゃんもさ、わいやめてくんない、さあがに、いつかだつて暇なわけじゃないんだよ、かわいい後輩にお願いされたからわざわざ時間空けて来てやつてるのにさ、いいまで馬鹿にされたらさ、誰だつて怒るでしょ、悪いけどさういうもつ学生じやなくて社会人なのよ、悪いけどね、だつてさ、「ゴコラ」なわけないじやん、「ゴコラ」がスーツ着てさ、就活とかさ、ましてやストロベリーパフェなんか食べるわけないじやん、バナナではなくよ?バナナではなくよ?いや多少顔面の造形はリアルかもしれないけどさ、

センパイ え、ほんとに?

林ちゃん センパイ

センパイ いや、え、

林ちゃん 山田くんは「ゴコラ」じやないです

センパイ え、これ仮装とかじやなくて?

林ちゃん これが山田くんの真の姿ですよ

センパイ でも「ゴコラ」って喋らなくない?

林ちゃん でも山田くんは喋つてますよ

センパイ へえ

センパイ え、なに、君、就活してるの?  
山田くん え、はい

センパイ これ（Hントコーシーム）はや

山田くん はい

センパイ 出してるの？

山田くん 出してるとこうのは？

センパイ 実際に企業に出してるの？

山田くん そこまでひどい出来なのですか

林ちゃん センパイに見せて良かつたでしょ？

山田くん うん

センパイ いや、もうこうことじゃなくてね

山田くん どうこうことですか？

センパイ 企業は受け取ってくれるの？

山田くん 企業が受け取ってくれないことがあるのですか？

林ちゃん センパイは就活のことなんでも知ってるでしょ

山田くん うん

センパイ いや、なんだけどね、そんなことは

山田くん ないのですか？

センパイ ないので君の場合はあるんだよね

山田くん あるのですか

林ちゃん そんなんにダメダメなんですか？山田くんのHントコーシーム。

センパイ ダメダメっていうかね

山田くん 自分なりにはよく書けてると思ったのですが

センパイ いや、よく書いてはいるんだけどね

林ちゃん ジャあ何がダメダメなんですか？

センパイ 写真かな

山田くん たしかに写真のことは一切考えたことがありませんでした  
林ちゃん センパイは盲点を突いてくるでしょ？

山田くん うん、やはりこうじつたものはスタジオでプロのカメラマンに撮影  
していただいた方が良いのですね

センパイ 違くてね

山田くん え？

センパイ 写真の質とかそういうのとじゃないんだよね  
山田くん 写真の質とかそういうのではないのですか?  
林ちゃん じゃあ本当のところは何がダメダメなんですか?

センパイ 「ココ」

林ちゃん、山田くん 「ココ?~」

センパイ 「ココ」

センパイ 「ココ」は採用しないでしょ

山田くん しかし採用条件にそのようなことは書かれていました  
センパイ 書かなくても分かるからだよ、そんなことは  
林ちゃん でも分からなかつたですよ? 私たち?  
センパイ え、マジで分からなかつたの?

山田くん 分からなかつたどりとか今もなお分かつておりません  
センパイ だって考えてみなよ、オフィスで「ココ」見たことある?

山田くん 申し訳ありません、私まだ生のオフィスを拝見したことがなくて  
林ちゃん 私も生のものはまだ

センパイ イメージでいいから、イメージオフィスに「ココ」いる?

林ちゃん、山田くん はい

センパイ いないんだよね

林ちゃん、山田くん いないんですね

センパイ いないんだよね、少なくとも一般人のイメージオフィスには「ココ」  
いないのよ

山田くん 我々は一般人ではなかつたところのことですか?

センパイ 少なくとも君(山田くん)はそうでしょう

林ちゃん (山田くんに) そうなの?

山田くん (センパイに) そうなのですか?

センパイ だって君は一般「ココ」でしょう

林ちゃん、山田くん 一般「ココ」

山田くん では一般「ココリ」の採用枠はどうありますか？

センパイ ないよ、そんなものは

山田くん ないのですか？

センパイ ないよ

山田くん ならば一般「ココリ」はどのように働けば

センパイ 基本的に働かないよね、一般「ココリ」は

山田くん そんな

センパイ 別に働く必要もないからね

山田くん しかし生活があります

センパイ え、じゃあ保護とかしてもいいんじゃない？

山田くん 保護していただけるのですか？この私がですか？

センパイ え、分かんないけど、たぶんしてもらえないんじゃない？

山田くん 一体どちらで保護していただけるのでしょうか？

林ちゃん ダメだよ、山田くん

山田くん え？

林ちゃん だつてまだ色々と私に未払いでしょ？

山田くん あ、そうか

センパイ え、林ちゃんに？

林ちゃん 山田くん、実は今うちに居候してゐるんです

センパイ え？山田くんが？林ちゃんの家に？

林ちゃん だから山田くんには働いてお金を返してもうわないといかなくて、

勝手に保護されると困るんです

センパイ え、お金って食費とか？

林ちゃん 食費とか、あと色々と、ね

山田くん う、うん

センパイ え、二人は同棲してゐるといふ？

林ちゃん 山田くん はい

センパイ へえ

センパイ あれ、林ちゃんって実家だつけ？

林ちゃん 一人暮らしだすね

センパイ セリだよね

センパイ え、付き合ってはいないよね？

林ちゃん 付き合ってはいますね

センパイ あ、そりなんだ

センパイ 山田くんのどじが良かったの？

林ちゃん 人間じりじりですかねえ

センパイ ああ

センパイ でも一般「コツラ」に就職は無理かな、正直

山田くん 無理ですか

林ちゃん でももしかしたら一社くらい採用してくれねといふがあるかもしけ

ないし、

センパイ いや、たぶん絶対ないと思つ

センパイ 残念だけど君が生きてくためにはどじかこりに保護してもらひつか  
ないのかもしれないね、受け入れ難いとは思うけど林ちゃんも山田くんのど  
じとは諦めた方がいいよ、一旦保護されたら余いに行くのも難しくなる

林ちゃん そうなんですか？

センパイ 分かんないけどたぶんセリだよ絶対

店員さん、料理を持ってやつてやる。

店員さん 失礼します、チーズインハンバーグのお客様

センパイ あ、はいはい

店員さん チーズインハンバーグをセンパイの前に置く。

店員さん チョコレートパフェのお客様

林ちゃん はい

店員さん、チココレーブルを林ちゃんの前に置く。

店員さん、いかがストロベリーパフェになります。

店員さん、ストロベリーパフェを山田さんの前に置く。

店員さん 以上でお揃いでしあうか?

センパイ あの

店員さん はい

センパイ ボウリング就職は無理ですよね?

店員さん そうなんですか?

センパイ え?

店員さん どういへりどりん

店員さん、いなぐなる。

センパイ あの人是一般じゃないね

林ちゃん 私には一般に見えたんですが

センパイ いや一般じゃない、全然一般じゃない

林ちゃん センパイ

センパイ 何?

林ちゃん もしかしたら私たち、逆立ち仲間ではないかもしませぬ

センパイ え? なんで?

林ちゃん かといって敵同士でもありますよ

センパイ え、何、どうこうこと?

林ちゃん 私あんまり逆立ちしてないんですけど

センパイ まあつむりとかじゃないからね、こうこうのは

林ちゃん というかそもそも追いコンで逆立ちしてなかつたと懲つたのです私

センパイ いやしてたんだって、見たんだわ、え、だつて林ちゃんなんも覚え

てないんでしょう？

林ちゃん はい、何も覚えてはいないんですけれども

センパイ ほら

林ちゃん でもわたし逆立ちできないんですよ

センパイ いやいや、

林ちゃん できなこんですよ、でも

センパイ あ、やつらにせば山田くん水まだじやん

山田くん え、あ、失念しておりました

センパイ 持ってきてあげるよ

山田くん いや、しかし、

センパイ いいからいいから

センパイ、いなくなる。

山田くん あのわ

林ちゃん なに？

山田くん 仕事がなくともどうにかお金は返すからね

林ちゃん うん、私としてもやむはしつかり返して欲しい

山田くん うん

林ちゃん 徐々にでいいがね

山田くん かたじけない

林ちゃん よかわい

山田くんのスマホが鳴る。

山田くん、スマホの画面を見や。

山田くん あ  
林ちゃん え?  
山田くん 書類選考通った

山田くん、林ちゃんにスマホを見せる。

林ちゃん やつやしたね

山田くん よかったあ

林ちゃん 「ココリ」でも通ったね

山田くん うん、「ココリ」でも通った

センパイ、グラスを持つてやつてくれる。

山田くんの前にグラスを置く。

山田くん あ、ありがと!! ありがとうございます

センパイ なんか盛り上がりになかった?

林ちゃん 山田くん

山田くん、センパイにスマホを見せる。

センパイ おめでとう

山田くん ありがとうございます

林ちゃん 「ゴリラ」でも平気だったようです

センパイ みたいだね

センパイ じめんね、なんか

林ちゃん いやいや、センパイが謝ることはないですよ

山田くん むしろ相談に乗っていただき感謝しております

センパイ 僕としても感無量だよ

山田くん これで保護していただかなくとも大丈夫そうですね

センパイ そうだね

林ちゃん 私もお金が返ります

センパイ うん

山田くん 安心したからかお腹が空いてしまいました

林ちゃん 全然手つけてなかつたね

山田くん うん

林ちゃん センパイも遠慮せずに食べてください

センパイ え、あ、うん

林ちゃん え、どうしたんですか？

センパイ いや別に

センパイ (山田くんに) 水、あるからね

山田くん あ、はい、ありがとうございます

センパイ 飲んでね

山田くん はい、飲みます

センパイ 飲みなよ

山田くん え、はい

山田くん、水を飲む。  
しかしすぐそれを吐き出す。

林ちゃん 山田くん?

山田くん 申し訳ございません

林ちゃん 大丈夫？どうしたの？

山田くん いや、なんか味が

林ちゃん え？

林ちゃん、グラスをよく見る。

林ちゃん え

林ちゃん 山田くん、行こうか

山田くん え？

林ちゃん いいから

林ちゃんと山田くん、いなくなる。

店員さん、やつてへる。

店員さん いかがなさいましたか？

センパイ すいません、連れがテーブル汚しちやつて

店員さん いえいえ、お客様のご様子は？

センパイ なんか変な味がしたっぽいです

店員さん 左様でござりましたか、大変失礼いたしました

店員さん、テーブルを拭いてある。

センパイ あ、いいですこじです

店員さん え？

センパイ 僕がやりますから

店員さん いやでも、

センパイ これ僕のおしつこなんで

店員さん え

夕方。

動物園。

「ココ」の檻の前。

センパイが立っている。

何か細長いものが入った袋を肩にかけてしている。

清掃の人、やつてへる。

清掃の人 お兄さん、ごめんね、もうおしまいなんだ

清掃の人 お兄さん、聞いてる？

清掃の人 清掃を始める。

清掃の人 なに、そんなにゴリラ好きなの

清掃の人 いいよねゴリラ、私も好きだよ  
センパイ ゴリラの知り合いがいたんですよ

清掃の人 あ、そうなんだ  
センパイ びっくりでしょ

清掃の人 え、なんで？

センパイ 毎日大変でしょ

清掃の人 え？

センパイ 掃除

清掃の人 まあそうだねえ

センパイ 一人でやつてるの？

清掃の人 このエリアはね

センパイ じゃあ大変だ

清掃の人 でも好きだからね

センパイ 掃除が？

清掃の人 掃除もゴリラも

センパイ ゴリラは嫌いかもよ

清掃の人 そうなのかなあ

センパイ だって閉じ込められてんだから

清掃の人 それはそうなんだけどね

センパイ だけど何？

清掃の人 攻撃とかしてこないよ

センパイ 時間の問題だよ

清掃の人 その時はもうじょりがないね

センパイ いいのそれで？

清掃の人 え、うん

センパイ おかしくない？

清掃の人 なんで？

センパイ 辞めたくなんないの？

清掃の人 あんまりなんないかな  
センパイ でもフンの掃除とかもするんでしょ？

清掃の人 そうだね、もちろん

センパイ 汚いでしょ、「ゴコラのフンとか  
清掃の人 でも私もうんこするからねえ

センパイ ゴリラのフンと君のうんこは別物だから  
清掃の人 え、そうかな

センパイ そうなんだよ

清掃の人 でもだいたい一緒に

センパイ 一緒なわけあるか

清掃の人 見比べてみる？

センパイ やめろよ、汚い

清掃の人 ごめんごめん

センパイ 彼氏とかいないの？  
清掃の人 いないよ

清掃の人 今は恋愛よりうんこの掃除だから

センパイ 俺も今そういう気分なんだよね

清掃の人 お、分かり合えたね

センパイ いや、なんも分かってないでしょ  
清掃の人 でもなんか寂しそうには見えるよ、フラれた？

センパイ は？  
清掃の人 図星だ

センパイ それは全然違うから

清掃の人 いいのに、別に恥ずかしくないよ

清掃の人

センパイ おかしくない？

センパイ 違うから

清掃の人 怒らなくていいのに

センパイ 怒つてないだろ

清掃の人 ああ、そう

センパイ 知り合いに嫌われたんだよね

清掃の人 へえ、なんかしたの？

センパイ した

清掃の人 したんだ

センパイ そいつの写真見る？

清掃の人 いや、いいよ

センパイ 面白いから、逆立ちしてて

清掃の人 別に興味ないからねえ

センパイ 気になんないの？

清掃の人 うん

清掃の人 何したの？

センパイ 言いたくない

清掃の人 そんなひどいことしたの？

センパイ うん

清掃の人 じゃあしそうがないね

センパイ あやすなよ、俺を

清掃の人 え、どうしたの？

センパイ、スマホの画面を清掃の人見せる。  
清掃の人、画面に目を凝らす。

清掃の人 え

清掃の人 すいません、閉園の時間なので

センパイ まだ大丈夫でしょ  
清掃の人 いえ、困ります  
センパイ 見てるだけだから  
清掃の人 出て行ってください  
センパイ 俺のこと掃除するつもりだ  
清掃の人 言ってる意味がわかりません  
センパイ お前らが言い出したんだろ  
清掃の人 作業が遅れるので  
センパイ 誰が遅れてるって  
清掃の人 警備員呼びますよ

センパイ、肩にかけた袋から獣銃を取り出す。

清掃の人、走っていなくなる。

センパイ、ゴリラに向けて立て続けに発砲する。

午前。  
面会室。

センパイと記者2が向かい合って椅子に座っている。  
一人の間には透明な壁がある。

記者2はボイスレコーダーを持っている。

記者2 被害者に恨みはありましたか？  
センパイ 被害者というのは？  
記者2 あなたが発砲した相手のことです  
センパイ 俺はアレを被害者だとは思っていません  
記者2 しかし現にあなたは相手を殺害したわけでしょう  
センパイ はい、その通りです

記者2 であれば発砲したあなたが加害者で、被弾した相手が被害者だということにはなりませんか？

センパイ 動物の射殺は器物損壊罪だと聞いています

記者2 それはいつどこで聞いた話ですか？

センパイ 前に本で読みました

記者2 そのあと法改正があつたことは知っていますか？

センパイ 動物の射殺にも殺人罪が適用される」とことになりました

記者2 ならばやはり相手は被害者だとこういふことになりますか？

センパイ それは法律の上の話でしょう

記者2 法律の話を出したのは私ではなく、あなたです

センパイ あくまで参考にしただけです

記者2 あなたは法を否定するところだとですか？

センパイ はい

記者2 法改正は生物の多様性を確保するところの意向を反映したものです

センパイ それも知っています

記者2 つまりあなたは生物の多様性を否定するところだとですか？

記者2 そういうとこにはなりませんか？

センパイ そういうとこには、なると思います

センパイ 今の世界に気持ち悪さを感じます

記者2 結局、罪を認めるところですか？

センパイ 罪を認めます

センパイ でも罪悪感はありません

記者2 罪だと分かるなり、自然と罪悪感は感じるのはやでしよう。

センパイ 僕もそういうました

記者2 話を戻します、他に誰を恨んでいましたか？

センパイ 清掃の人�이て、例えばその人とかも

記者2 それは現場の動物園の話ですか？

センパイ そうです、彼氏のいない

記者2 なぜその人を恨んでいたんですか？

センパイ 理由はいろいろあります

記者2 例えば？

センパイ 追い出さうとした

記者2 あなたを？

センパイ 僕を

記者2 動物園から？

センパイ 動物園と

記者2 動物園と？

センパイ ここから

記者2 ここといつのないの部屋のことですか？

センパイ その部屋もそうですね

記者2 他にはどうぞ指しますか？

センパイ そうですね、ファミレスとか

センパイ あと外から

記者2 外？

センパイ 外

記者2 外からどうやってあなたを追い出すんですか？

記者2 だって外は無限に広がっているでしょう？

センパイ 外はだんだん狭くなってきてるじゃないですか？

記者2 狹くなってきたるんですか？

センパイ 狹くなってきたるんですよ

センパイ 狹くなってきたるんですねえ

記者2 やつやの面見の方だと、

センパイ はい

記者2 まだ他に娘でいる人がいるようですが？

センパイ そうですね、あとは林ちゃんとか

記者2 林ちゃん？

センパイ 写真の女の子です

記者2 なるほど

記者2 林さんと面識はありましたか？

センパイ あるに決まってるじゃないですか

記者2 どういった関係でしたか？

センパイ サークルの後輩なんですよ、大学時代の

記者2 写真はいつ撮られたのですか？

センパイ 僕の代の追い出し会があって、その帰りです

記者2 そのときあなたは泥酔していましたか？

センパイ 多少は酔ってましたけどたしかに意識はありましたよ

記者2 そのときのことについて聞かせてもらひえますか？

センパイ いいですけど

センパイ 林ちゃんのことは前からいいなって思っていたんですよ、何考えてる  
か分かんないときもあるんですけどね、でもああ見えてけつりがおくん  
ですよ、あとまあまあかわいじし、しかもかなり俺に優しくしてくれるんですけど  
よ、ほり俺つて浮いてるといひあるじゃないですか、だからサークルでも孤立  
してたんですけど、でもね、その追うコンのときもね、気使ってくれてたのか  
分かんないですけど俺の隣に座ってくれるんですよ、でもけつりといひととわれ  
るとちょっと期待しちゃうじゃないですか、期待しちゃうんですけど、まあ飲  
み会自体は平和に終わったんですよ、でもね、俺といえば、酒が入ってるつ  
ていうのもあってね、舞い上がってたわけですよ、それでね、その勢いで  
ね、林ちゃんを呼び出してね、愛の告白をね、したわけですよ、その時に愛  
があつたかどうかは別の話なんですね、そしたらまあ見事に撃沈ですよ、  
なんでなのって聞きましたよ、そしたら「れ笑ったんですけど、友達でした

いですって言られて、いやいや俺とお前は友達じゃないだろと、俺とお前はあくまで先輩と後輩だろと、叱りつけてやったんですよ、だけどなんか全然ピンときてないみたいで、酔っ払ってよく分かってなかつたんだと思いますけどね、まあ笑ったわけですよ

センパイ それでもね、それなのにね、そのあと一緒に帰ってくれたんですよ、みんなもう帰ってるんですよ、林ちゃんとはもともと帰り道は同じだったんですけどね、でもそんなやついます？普通だって気ழうじょ、告白されても、振つてて、しかも先輩で、俺だつて氣恥ずかに決まつていらじやないですか

センパイ やもんの後輩といつぱんな話が盛つ上がってたんですよ

センパイ 大学の最寄駅にね、エスカレーターがあるんですよ、あの写真はね、そこで撮つたんですよ、林ちゃん、短いスカート履いてて、それでこいつ、こんな感じで、下から手を伸ばして、そしたら上下逆さまで撮れちゃって、逆立ちしてるみたいでしょ、逆立ちてるみたいなんですか、でも常習犯じゃないですよ、出来心つてこうんですか

センパイ 油断してたんですね、林ちゃんアホみたいに酔つてたから、でも顔上げたりね、がつたり田が合つたりやつたんですね、あ、人生終わつたって思うわけですよ、だつてそこで通報されたらおしまいじゃないですか、だけど林ちゃんね、何も言わずに黙つてるんですよ、その後もそのまま最後まで黙り続けるんですけど、気づいたら駅のホームで抱き合つてしましました、じゃあなんで振つたんだよつて、そのときは思いましたね

センパイ 僕もね、俺みたいな人間は最低だと思いますよ、でもね、分からなくなるんですよ、殺しても殺してもこの思想がね、死んでくれないんですよ、こうなるとね、俺は生きていってはいけないことになつてしまつんですよ、それはね、ちゃんと分かってるんですけど、でもあの時ね、あの駅でね、別に生きていっていいんだつて、ちょっとだけ思つちゃつたんですよ、あの時間が永遠に続いたらね、よかつたんですけどね、林ちゃんとは連絡が取れなくなりました

この間にか記者へはこなくなり、サイモン&ガーファンクルの The Sound of Silence が流れています。

センパイ、なぜか僕にある獵銃を手に取る。  
その銃口を口にくわえたまま語り出す。

センパイ ジーは暗い部屋です、つこに光の射さなかつた暗い部屋です、今となつては自分の手のひらの輪郭だつて見えません、なので僕に自分の手のひらがあるはずだと思い続ける他ありません、しかし僕は光が射すのを待つてゐるわけではありません、僕が待つてゐるのは光ではなく、この暗い部屋で時折一緒にいてくれる友人です、だけど僕は一人になりました、僕にはもう何もありません、小学生の頃、ノートに落書きをするのが好きだったことを、たつたいま忘れました

センパイ、引き金を引く。

終わり